

1 早稲田大学で司書資格を取得する方法

以下のすべての項目を満たす必要があります。

- 学士の学位を取得すること（本学を卒業すること）
- 図書館司書資格に必要な科目の単位を修得すること（☞ P.76）

2 卒業後に司書資格を取得する方法

(1) 文部科学大臣から委託を受けた大学において実施される司書の講習を修了すること。

- 講習実施大学は文部科学省 web ページ [<http://www.mext.go.jp>] を参照してください。
- 大学にて「図書館司書関連科目」の単位を修得した場合、講習科目の一部が免除されることがあります。卒業した学部事務所に「図書館司書単位修得証明書」を発行後、講習を実施する大学へ持ち参り相談してください。

(2) 大学（短大を含む）で司書資格取得に必要な科目の単位を修得すること。

通信課程を有する大学等で科目を履修してください。通信課程を有する大学についての詳細は、私立大学通信教育協会の web ページ等を参照してください。

☞ 私立大学通信教育協会 [<http://www.uce.or.jp/>]



卒業後に図書館司書関連科目の不足単位を本学で修得することはできません。

3 図書館司書資格取得要件

新カリキュラム (2012年以降入学者)									
群	図書館に関する科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	必修/選択	単位	配当年次	科目設置箇所	図書館司書課程聴講料	
甲群	生涯学習概論	2	①生涯学習	①～④のうちいずれか必修	2	1	教育	不要	
			②生涯学習概論I				教育		
			②生涯学習概論II				教育学部生涯教育学専修【専門必修】		
			③生涯学習概論1				教育		
			④生涯学習概論2				教育学部生涯教育学専修【専門必修】		
	図書館概論	2	図書館概論	全科目必修	2	1	教育	¥7000 P.77	
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論		2	1	教育		
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論		2	1	教育		
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論		2	1	教育		
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論		2	1	教育		
	情報サービス論	2	情報サービス論		2	1	教育		
	児童サービス論	2	児童サービス論		2	1	教育		
	情報サービス演習	2	情報サービス演習I		1	1	教育		
			情報サービス演習II ※「情報サービス論」単位修得者のみ登録可		1	2	教育		
情報資源組織論			2		1	教育			
情報資源組織演習	2	情報資源組織演習 ※「情報資源組織論」単位修得者のみ登録可	2		2	教育			
乙群	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論		2科目以上選択必修	2	2		教育
	図書・図書館史	1	図書・図書館史			2	2		教育
	図書館施設論	1	図書館施設論			2	2		教育



- 「生涯学習概論 I A」「生涯学習概論 II A」は、教育学部教育学科教育学専攻教育学専修および初等教育学専攻の学生が履修する場合は専門選択科目に、教育学部のその他の学科・専修の学生が履修する場合は専門教育科目（他学科・他専修）になります。また、初等教育学専攻の学生が履修する場合の配当年次は「2」です。他学部生は、所属学部で定められた他学部聴講登録期間中に申請してください。
- 「生涯学習概論 IB」「生涯学習概論 IIB」は、生涯教育学専修の学生のみが履修可能な専門必修科目です。その他の学部・学科・専攻・専修の学生は登録できません。
- 文化構想学部・文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録期間中に申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
- 「図書館概論」は教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合、専門選択科目となり、聴講料も不要です。その他の学部・学科・専攻・専修の学生が履修する場合、随意科目（資格関連科目）となり聴講料が必要です。
- 前提条件となる科目の単位を修得しないと、本科目は登録できません。併行履修もできませんので、資格取得に2年は時間を要します。

I 免許状とは
II 取得要件
III 科目一覧・履修方法
IV 科目登録・成績
V 介護等体験
VI 教育実習
VII 免許状申請
VIII 教員就職
IX その他

4 科目登録方法

- 資格取得に必要な科目を確認し、要件を満たすように漏れなく登録してください。所属学部で定める登録方法・日程に従って履修申請してください。
- 配当年次以上の科目を登録できます。
- 授業は原則、早稲田キャンパスと戸山キャンパスで行います。
- 履修科目の単位の取り扱いは、所属学部の「学部要項」、「講義要項」（教育学部生は「授業ガイド」）、「科目登録の手引き」等を参照してください。

5 聴講料納入

名称	対象科目	聴講料	注意事項
図書館司書課程聴講料	図書館司書 および 学校図書館 司書教諭 関連科目	¥7,000	<ul style="list-style-type: none">●一度納入すれば在学中有効。在学中は領収証を保管しておくこと。●教育学部教育学科教育学専攻教育学専修または生涯教育学専修の学生が「図書館概論」のみを履修する場合は、聴講料不要。●「生涯学習」「生涯学習概論Ⅰ」「生涯学習概論Ⅱ」「生涯学習概論Ⅰ」「生涯学習概論Ⅱ」のみを履修する場合は、聴講料不要。●学士入学者は、過去に本学に在籍し、左記の聴講料を納入したことのある場合でも改めて納入が必要。●再入学者は過去に左記の聴講料を納入したことがある場合、納入不要。



- 聴講料の納入方法は所属学部事務所の案内に従ってください。
- 履修科目の聴講料・実習料は全て納入する必要があります。（特定の科目の聴講料のみ納入することはできません。）
- 聴講料が納入されなかった科目は全て、登録が「取消」となります。

6 授業・休講・補講・レポート・成績

授業・休講・補講・レポート・成績については、教員免許状取得の場合と同じ要領になります。（☞ P.38～42）

7 申請できる証明書

証明書の種類	内容
図書館司書単位修得証明書	図書館法に基づき修得した機関・単位を証明するもので、主に図書館司書の資格を有していることを証明するために使用します（この場合、卒業証明書と併せて使用することが必要です）。卒業日以降発行します。

■ 請求方法

証明書は所属学部事務所にて発行します。請求方法の詳細は所属学部の web ページを参照してください。

学校図書館司書教諭

I
免許状とは

II
取得要件

III
履修方法
科目一覧・

IV
科目登録
成績

V
介護等体験

VI
教育実習

VII
免許状申請

VIII
教員就職

IX
その他

1 早稲田大学で学校図書館司書教諭の資格を取得する方法

以下のすべての項目を満たす必要があります。

- 小学校、中学校、高校、または特別支援学校のいずれかの教員免許状を取得すること
- 学校図書館司書教諭資格に必要な科目の単位を修得すること (☞ P.78)

2 学校図書館司書教諭資格取得要件

下表のすべての科目の単位を修得する必要があります。

学校図書館司書教諭資格取得要件

学校図書館司書教諭講習科目	最低修得 単位数	早稲田大学 設置科目名	履修 方法	単 位	配当 年次	科目設置箇所	図書館司書 課程聴講料
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	必修	2	1	教育	¥ 7000 ☞ P.79
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	必修	2	1	教育	
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	必修	2	1	教育	
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	必修	2	1	教育	
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	必修	2	1	教育	

3 科目登録方法

- 資格取得に必要な科目を確認し、要件を満たすように漏れなく登録してください。所属学部で定める登録方法・日程に従って履修申請してください。
- 配当年次以上の科目を登録できます。
- 授業は原則、早稲田キャンパスと戸山キャンパスで行います。
- 履修科目の単位の取り扱い、所属学部の「学部要項」、「講義要項」(教育学部生は「授業ガイド」)、「科目登録の手引き」等を参照してください。

4 聴講料納入

名称	対象科目	聴講料	注意事項
図書館司書課程聴講料	図書館司書および学校図書館司書教諭関連科目	¥7,000	<ul style="list-style-type: none"> ●一度納入すれば在学中有効。在学中は領収証を保管しておくこと。 ●教育学部教育学科教育学専攻教育学専修または生涯教育学専修の学生が「図書館概論」のみを履修する場合は、聴講料不要。 ●「生涯学習」「生涯学習概論Ⅰ」「生涯学習概論Ⅱ」「生涯学習概論Ⅰ」「生涯学習概論Ⅱ」のみを履修する場合は、聴講料不要。 ●学士入学者は、過去に本学に在籍し、左記の聴講料を納入したことのある場合でも改めて納入が必要。 ●再入学者は過去に左記の聴講料を納入したことがある場合、納入不要。

- !**
- 聴講料の納入方法は所属学部事務所の案内に従ってください。
 - 履修科目の聴講料・実習料は全て納入する必要があります。(特定の科目の聴講料のみ納入することはできません。)
 - 聴講料が納入されなかった科目は全て、登録が「取消」となります。

5 授業・休講・補講・レポート・成績

授業・休講・補講・レポート・成績については、教員免許状取得の場合と同じ要領になります。(☞ P.38～42)

6 履修から修了証申請までのスケジュール

1年次～3年次

科目履修

- 3年次までにすべての科目の単位を修得しましょう。

4年次

- 教職支援センターにて修了証申請の手続きを行います。期限に間に合わなかった場合は、卒業後に文部科学省の委託を受けた大学で手続きを行ってください。(☞「卒業後に修了証を申請する場合」)

修了証申請の手続き

【前提条件】

- ① 申込時に、教員免許状を取得見込みであること。(学校種、教科は問いません)
- ② 申込時に、学校図書館司書教諭にかかる所定の単位をすべて修得済であること。

【申請書配布・提出期間】 2021年7月1日(木)～7月16日(金)

【申請書配布・提出場所】 教職支援センター(16号館2階)

【提出物】 申請書

卒業

- 学位記と共に修了証が受け取れます。

就職

- 卒業しない方についても、修了証をお渡ししますが、修了証は卒業し、また、教員免許状を取得しない限りその効力を発しません。

I 免許状とは
II 取得要件
III 履修方法・科目一覧
IV 科目登録成績
V 介護等体験
VI 教育実習
VII 免許状申請
VIII 教員就職
IX その他

7 卒業後に修了証を申請する場合

卒業と同時に要件を満たす場合、卒業後に文部科学省の委託を受けた大学へ修了証を申請することになります。委託を受けた大学の一覧は文部科学省 web ページを参照してください。(東京都で申請する場合、東京学芸大学が窓口となります)

☞文部科学省 web ページ [http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/index.htm]

> 学校図書館司書教諭講習実施要項

> 別表1 講習実施機関

☞東京学芸大学 学校図書館司書教諭講習 [<http://www.u-gakugei.ac.jp/t-support/shisho.html>]

8 卒業後に学校図書館司書教諭資格を取得する方法

(1) 文部科学大臣から委託を受けた大学において実施される学校図書館司書教諭の講習を修了すること。

- 講習実施大学は文部科学省 web ページ [<http://www.mext.go.jp/>] を参照してください。

(2) 大学(短大を含む)で司書教諭資格取得に必要な単位を修得すること。

通信課程を有する大学等で科目を履修してください。通信課程を有する大学についての詳細は、私立大学通信教育協会の web ページ等を参照してください。

☞私立大学通信教育協会 [<http://www.uce.or.jp/>]

! 卒業後に学校図書館司書教諭関連科目の不足単位を本学で修得することはできません。

9 申請できる証明書

証明書の種類	内容
学校図書館司書教諭単位修得証明書	学校図書館法に基づき修得した機関・単位を証明するもので、学校図書館司書教諭の修了証を申請する際に必要となります。全ての単位修得が終わった次年度より発行します。

■ 請求方法

証明書は所属学部事務所にて発行します。請求方法の詳細は所属学部の web ページを参照してください。

博物館学芸員

1 早稲田大学で学芸員資格を取得する方法

以下のすべての項目を満たす必要があります。

- 学士の学位を取得すること（本学を卒業すること）
- 博物館学芸員資格に必要な科目の単位を修得すること

2 博物館学芸員資格取得要件（2012 年度以降入学者）

■ 博物館学芸員資格取得要件

教育学部生用 ※科目設置箇所は全て教育学部です。

▲ 欄に特に記載がなければ、1次登録から登録してください。

博物館に関する科目	最低修得 単位数	早稲田大学設置 科目名	必修/ 選択	単 位	配当 年次	聴講料	▲	
生涯学習概論	2	①生涯学習		2	1	不要		
		②生涯学習概論Ⅰ	①～② のうち いずれ か必修	2	1	教育学部生涯教育学専修 【専門必修】	不要	1
		②生涯学習概論Ⅱ		2	1	教育学部生涯教育学専修 【専門必修】	不要	2
博物館概論	2	博物館概論	必修	2	1	不要	3	
博物館経営論	2	博物館経営論	必修	2	1	不要		
博物館資料論	2	博物館資料論	必修	2	1	不要		
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	必修	2	1	不要		
博物館展示論	2	博物館展示論	必修	2	1	不要		
博物館教育論	2	博物館教育論	必修	2	1	不要		
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	必修	2	2	¥2,000		
						教育学部生涯教育学専修 【専門必修】	4	
						教育学部生涯教育学専修 【専門必修】		
博物館実習	3	博物館実習	必修	3	3	¥5,000	5	

1. 「生涯学習概論 I A」「生涯学習概論 II A」は、教育学科教育学専攻教育学専修および初等教育学専攻の学生が履修する場合は専門選択科目に、その他の学科・専修の学生が履修する場合は専門教育科目（他学科・他専修）になります。また、初等教育学専攻の学生が履修する場合の配当年次は「2」です。
2. 「生涯学習概論 I B」「生涯学習概論 II B」は、生涯教育学専修の学生が履修する場合は専門必修科目です。他学部・他学科専修の学生は登録できません。
3. 「博物館概論」は、教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合、専門選択科目となります。その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合は、随意科目（資格関連科目）となります。
4. 「博物館情報・メディア論 F」「博物館情報・メディア論 G」は、生涯教育学専修の学生が履修する場合は専門必修科目です。他学部・他学科専修の学生は登録できません。
5. 「博物館実習」を履修するには、「博物館概論」の単位を前年度までに修得することが必要となります。従って前年度までに、「博物館概論」の単位を修得していない場合は、本年度に「博物館実習」の履修はできません。E, F, Hクラスの授業は戸山キャンパスで行います。

■ 博物館学芸員資格取得要件 教育学部以外の学生用

博物館に関する科目	最低修得 単位数	早稲田大学設置 科目名	必修/ 選択	単 位	配当 年次	科目設置 箇所	聴講料	!	
生涯学習概論	2	①生涯学習	①～④のう ちいずれか 必修	2	1	教育	不要	1	
		②生涯学習概論I		セット履修	2	1	教育	不要	2
		②生涯学習概論II			2	1	教育	不要	2
		③生涯学習概論1			2	1	文	不要	3
		④生涯学習概論2			2	1	文	不要	3
博物館概論	2	博物館概論	必修	2	1	教育	不要	1	
博物館経営論	2	博物館経営論	必修	2	1	教育	不要	1	
博物館資料論	2	博物館資料論	必修	2	1	教育	不要	1	
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	必修	2	1	教育	不要	1	
博物館展示論	2	博物館展示論	必修	2	1	教育	不要	1	
博物館教育論	2	博物館教育論	必修	2	1	教育	不要	1	
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	必修	2	2	教育	¥2,000	1	
博物館実習	3	博物館実習	必修	3	3	教育	¥5,000	1, 4	

1. 所属学部の一次登録にて登録申請をしてください。なお、科目の取り扱いは所属学部の学部要項等で確認してください。
2. 所属学部で定められた他学部聴講登録で申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
3. 文化構想学部・文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録で申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
4. 「博物館実習」を履修するには、「博物館概論」の単位を前年度までに修得することが必要となります。したがって前年度までに、「博物館概論」の単位を修得していない場合は、本年度に「博物館実習」の履修はできません。また、E, F, Hクラスの授業は戸山キャンパスで行います。

I 免許状とは
II 取得要件
III 科目一覽・履修方法
IV 科目登録・成績
V 介護等体験
VI 教育実習
VII 免許状申請
VIII 教員就職
IX その他

3 卒業後に学芸員資格を取得する方法


- (1) 文部科学省の学芸員資格認定試験に合格する。
試験の詳細は文部科学省 web ページを参照してください。
☞文部科学省 web ページ [学芸員の資格認定について]
[http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/1217921.htm]
- (2) 大学 (短大を含む) で学芸員資格取得に必要な科目を修得する。
通信課程を有する大学等で科目を履修してください。
詳細は、私立大学通信教育協会の web ページ等を参照してください。
☞私立大学通信教育協会 [<http://www.uce.or.jp/>]

4 その他資格の科目登録方法

- 資格取得に必要な科目を確認し、要件を満たすように漏れなく登録してください。所属学部で定める登録方法・日程に従って履修申請してください。
- 配当年次以上の科目を登録できます。
- 授業は原則、早稲田キャンパスと戸山キャンパスで行います。
- 履修科目の単位の取り扱い、所属学部の「学部要項」、「講義要項」(教育学部生は「授業ガイド」)、「科目登録の手引き」等を参照してください。

5 聴講料納入

名称	対象科目	聴講料	注意事項
実験実習料	博物館情報・メディア論	¥2,000	左記の科目については、聴講料の納入が必要です。
	博物館実習	¥5,000	

-  ● 実験実習料の納入方法は所属学部事務所の案内に従ってください。
- 履修科目の聴講料・実験実習料は全て納入する必要があります。(特定の科目の聴講料・実験実習料のみ納入することはできません。)
- 聴講料が納入されなかった科目は全て、登録が「取消」となります。

6 授業・休講・補講・レポート・成績

授業・休講・補講・レポート・成績については、教員免許状取得の場合と同じ要領になります。(☞ P.38 ~ 42)

7 申請できる証明書

証明書の種類	内容
博物館学芸員単位修得証明書	博物館法に基づき修得した機関・単位を証明するもので、主に博物館学芸員の資格を有していることを証明するために使用します(この場合、卒業証明書と併せて使用することが必要です)。卒業日以降発行します。

■ 請求方法

証明書は所属学部事務所に発行します。請求方法の詳細は所属学部の web ページを参照してください。

社会教育主事

社会教育主事は社会教育法（1949年法律第207号）に定められた教育委員会事務局に配置される専門的職員です。今回、「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」（2018年2月）によって、社会教育主事がNPOや企業等の多様な主体と連携・協働して、人づくりや地域づくりに中核的な役割を担うことができるように、社会教育主事講習及び大学における社会教育主事養成課程の科目の改訂が行われました。また、社会教育主事養成課程の学習成果が広く社会における教育活動に生かされるように、社会教育主事講習の修了証書授与者は「社会教育士（講習）」と、社会教育主事養成課程の修了者は「社会教育士（養成課程）」と称することができることとなります。早稲田大学では社会教育主事資格に必要な単位を修得することによって社会教育主事（※任用資格）および社会教育士（養成課程）を取得することが出来ます。

※任用資格とは、特定の職業ないし職位に任用されるための資格であり、該当する職務に任用・任命されて初めて効力を発揮する資格です。

1 社会教育主事の資格取得要件

社会教育主事の資格を有する条件は以下の通りです。（社会教育法第九条の四から抜粋）

- 一 大学に二年以上在学して六十二単位以上を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ、次に掲げる期間を通算した期間が三年以上になる者で、次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの
 - イ 社会教育主事補の職にあつた期間
 - ロ 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体における職で司書、学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものにあつた期間
 - ハ 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であつて、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）
- 二 教育職員の普通免許状を有し、かつ、五年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあつた者で、次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの
- 三 大学に二年以上在学して、六十二単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、第一号イからハまでに掲げる期間を通算した期間が一年以上になるもの
- 四 次条の規定による社会教育主事の講習を修了した者（第一号及び第二号に掲げる者を除く。）で、社会教育に関する専門的事項について前三号に掲げる者に相当する教養と経験があると都道府県の教育委員会が認定したもの

I

免許状とは

II

取得要件

III

履修方法
科目一覧・

IV

科目登録
成績

V

介護等体験

VI

教育実習

VII

免許状申請

VIII

教員就職

IX

その他

■ 「社会教育主事の養成に係る社会教育に関する科目」開講科目および履修方法（新課程）

(1) 2020 年度以降入学者 教育学部生用

法令上の科目		早稲田大学における開講科目			
科目名	必要 単位数	科目名	単 位 数	配 当 年 次	科目区分
I. 生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	1～	①教育学専修〔専門副選択〕 ②初等教育学専攻〔主選択 A2 領域〕 ③生涯教育学専修〔専門必修〕
		生涯学習概論Ⅱ	2	1～	①教育学専修〔副選択〕 ②初等教育学専攻〔主選択 A2 領域〕 ③生涯教育学専修〔専門必修〕
II. 生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	2	1～	①生涯教育学専修〔専門選択〕
		生涯学習支援論Ⅱ	2	1～	①生涯教育学専修〔専門選択〕
III. 社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	1～	①生涯教育学専修〔専門選択〕
		社会教育経営論Ⅱ	2	1～	①生涯教育学専修〔専門選択〕
IV. 社会教育特講	8	生涯学習基礎演習	2	1～	①生涯教育学専修〔専門必修〕
		生涯教育研究	2	3～	①生涯教育学専修〔専門必修〕
		社会教育史Ⅰ	2	2～	①生涯教育学専修〔専門必修〕
		社会教育史Ⅱ	2	2～	①生涯教育学専修〔専門必修〕
		学校開放論	2	1～	①生涯教育学専修〔専門選択〕 ②初等教育学専攻〔主選択 A2 領域〕
		多文化教育論	2	1～	①生涯教育学専修〔専門選択〕 ②初等教育学専攻〔主選択 A4 領域〕
		成人教育論	2	1～	①教育学専修〔専門副選択〕 ②生涯教育学専修〔専門選択〕 ③初等教育学専攻〔主選択 A4 領域〕
		青少年教育論	2	1～	①教育学専修〔専門副選択〕 ②生涯教育学専修〔専門選択〕 ③初等教育学専攻〔主選択 A2 領域〕
		教育福祉論	2	1～	①生涯教育学専修〔専門選択〕
		環境教育論	2	1～	①生涯教育学専修〔専門選択〕 ②初等教育学専攻〔主選択 A4 領域〕
		家庭教育論	2	1～	①教育学専修〔専門副選択〕 ②生涯教育学専修〔専門選択〕 ③初等教育学専攻〔主選択 A2 領域〕
女性教育論	2	1～	①教育学専修〔専門副選択〕 ②生涯教育学専修〔専門選択〕		

科目名	必要 単位数	科目名	単位 数	配当 年次	科目区分
IV. 社会教育特講	8	生涯スポーツ・レクリエーション論	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択] ③初等教育学専攻 [専門副選択]
		図書館概論	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択] ③図書館司書・司書教諭科目
		図書館サービス概論	2	1～	①図書館司書・司書教諭科目
		博物館概論	2	1～	①博物館学芸員科目
		博物館情報・メディア論	2	2～	①生涯教育学専修 [専門必修] ②博物館学芸員科目
V. 社会教育実習	1	社会教育施設実習	1	3～	①生涯教育学専修 [専門選択]
VI. 社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	3	社会教育演習 I-1	2	3～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育演習 I-2	2	3～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育演習 II-1	2	4	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育演習 II-2	2	4	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育課題研究 I-1	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育課題研究 I-2	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育課題研究 II-1	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育課題研究 II-2	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]

- 1 科目履修のルールは、教育学部の「科目登録の手引き」に記載されている内容が適用されます。
- 2 上記の表を参照しながら、法令上の科目I～VIの領域で定められている必修単位数を満たすように計画的に履修してください。
- 3 科目の内容や時間割、担当教員はWEB シラバスで確認してください。開講年度により異なります。
- 4 所属の学科専攻専修によって単位集計される科目区分が異なります。各科目の「科目区分」「履修申請上の注意」を確認してください。
- 5 「図書館概論 A」「図書館概論 B」のように、同一科目で複数クラス設置されている科目があります。履修クラスによって資格に使用できなくなることはありません。
- 6 初等教育学専攻に配当されている科目は上記の配当年次と異なる場合があります。
- 7 「社会教育施設実習」は学外施設で行う実習です。早稲田大学で実施する事前指導、事後指導にも必ず出席してください。

I 免許状とは
II 取得要件
III 履修方法
IV 科目登録
V 成績
VI 介護等体験
VII 教育実習
VIII 免許状申請
IX 教員就職
X その他

■ 「社会教育主事の養成に係る社会教育に関する科目」開講科目および履修方法（旧課程）

(2) 2019 年度以前入学の在学学生 教育学部生用

2019 年度以前入学者で、現在まで在学し続けている者は旧課程の適用となります。新課程科目の単位を修得した者は、以下表のとおりに読み替えます。

なお、卒業または退学し、2020 年度以降に再度本学に入学した場合は新課程の適用となり、旧課程で修得した単位は新課程の科目に読み替えます。

<新課程と旧課程の読み替え表>

新課程科目【単位数】		旧課程科目【単位数】
生涯学習概論【4 単位】	⇒	生涯学習概論【4 単位】
社会教育経営論【4 単位】	⇒	社会教育計画【4 単位】
生涯学習支援論【4 単位】	⇒	社会教育特講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ【12 単位】
社会教育特講【8 単位】		
社会教育実習【1 単位】	⇒	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究【4 単位】
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究【3 単位】		

旧課程科目【単位数】		新課程科目【単位数】
生涯学習概論【4 単位】	⇒	生涯学習概論【4 単位】
社会教育特講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ【8 単位】	⇒	社会教育特講【8 単位】
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究【3 単位】	⇒	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究【3 単位】

法令上の科目		早稲田大学における開講科目			
科目名	必要単位数	科目名	単位数	配当年次	科目区分
Ⅰ. 生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②初等教育学専攻 [主選択 A2 領域] ③生涯教育学専修 [専門必修]
		生涯学習概論Ⅱ	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②初等教育学専攻 [主選択 A2 領域] ③生涯教育学専修 [専門必修]
Ⅱ. 社会教育計画	4	社会教育経営論Ⅰ	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育経営論Ⅱ	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育方法論 (旧課程科目)	2	3～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育行財政Ⅰ (旧課程科目)	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]

科目名	必要 単位数	科目名	単位 数	配当 年次	科目区分
II. 社会教育計画	4	社会教育行財政Ⅱ (旧課程科目)	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]
III. 社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	4	社会教育施設実習	1	3～	①生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育演習 I-1	2	3～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育演習 I-2	2	3～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育演習 II-1	2	4	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育演習 II-2	2	4	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育実習 (旧課程科目)	2	1～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育課題研究 I-1	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育課題研究 I-2	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育課題研究 II-1	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育課題研究 II-2	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]
IV. 社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	4	生涯教育研究	2	3～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		家庭教育論	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択] ③初等教育学専攻 [主選択 A2 領域]
		女性教育論	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択]
		成人教育論	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択] ③初等教育学専攻 [主選択 A4 領域]
		青少年教育論	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択] ③初等教育学専攻 [主選択 A2 領域]
		多文化教育論	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択] ②初等教育学専攻 [主選択 A4 領域]
		女性史 (旧課程科目)	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]
		高齢者教育論 (旧課程科目)	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]

I

免状とは

II

取得要件

III

履修方法
科目一覧

IV

科目登録
成績

V

介護等体験

VI

教育実習

VII

免状申請

VIII

教員就職

IX

その他

科目名	必要 単位数	科目名	単位 数	配当 年次	科目区分
IV. 社会教育特講 II (社会教育活動・ 事業・施設)	4	社会教育研究	2	3～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		博物館情報・メディア論	2	2～	①生涯教育学専修 [専門必修] ②博物館学芸員科目
		博物館概論	2	1～	①博物館学芸員科目
		ツールとしての ICT 2 (旧課程科目)	2	1～	①複合文化学科 [専門必修]
		博物館経営論 (旧課程科目)	2	1～	①博物館学芸員科目
		博物館資料論 (旧課程科目)	2	1～	①博物館学芸員科目
		図書館概論	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択] ③図書館司書・司書教諭科目
		図書館サービス概論	2	1～	①図書館司書・司書教諭科目
		学校開放論	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択] ②初等教育学専攻 [主選択 A2 領域]
		社会教育施設・職員論 (旧課程科目)	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]
		社会教育史 I	2	2～	①生涯教育学専修 [専門必修]
		社会教育史 II	2	2～	①生涯教育学専修 [専門必修]
IV. 社会教育特講 III (その他必要な科目)	4	生涯学習支援論 1	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]
		生涯学習支援論 2	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]
		教育福祉論	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択]
		環境教育論	2	1～	①生涯教育学専修 [専門選択] ②初等教育学専攻 [主選択 A4 領域]
		生涯スポーツ・レクリ エーション論	2	1～	①教育学専修 [専門副選択] ②生涯教育学専修 [専門選択] ③初等教育学専攻 [専門副選択]
		教育学概論 I (旧課程科目)	2	1～	①教育学専修 [専門必修] ②生涯教育学専修 [専門必修] ③教育心理学専修 [専門副選択]
		教育制度概論 (旧課程科目)	2	1～	①教育学専修 [専門必修] ②教育心理学専修 [専門副選択]
		教育の制度と経営 (旧課程科目)	2	1～	①生涯教育学専修 [専門必修]

科目名	必要 単位数	科目名	単位 数	配当 年次	科目区分
IV. 社会教育特講 III (その他必要な科目)	4	初等教育学概論 I (旧課程科目)	2	1～	①初等教育学専攻 [専門必修]
		教育の制度と経営 (小) (旧課程科目)	2	1～	①初等教育学専攻 [専門必修]
		【3科目セット履修】 (1) 教育課程編成論 (中・高) (2) 教育基礎総論1 (中・高) (3) 教育制度総論 (中・ 高) (※または旧科 目「教育基礎総論2 (中・高)」でもよい) (旧課程科目)	1 2 2	2～ 1～ 1～	①教職課程科目

- 1 科目履修のルールは、教育学部の「科目登録の手引き」に記載されている内容が適用されます。
- 2 上記の表を参照しながら、法令上の科目Ⅰ～Ⅳの領域で定められている必修単位数を満たすように計画的に履修してください。
- 3 科目の内容や時間割、担当教員は WEB シラバスで確認してください。開講年度により異なります。
- 4 所属の学科専攻専修によって単位集計される科目区分が異なります。各科目の「科目区分」「履修申請上の注意」を確認してください。
- 5 「図書館概論 A」「図書館概論 B」のように、同一科目で複数クラス設置されている科目があります。履修クラスによって資格に使用できなくなることはありません。
- 6 初等教育学専攻に配当されている科目は上記の配当年次と異なる場合があります。
- 7 旧課程の認定科目を 2019 年度までに修得した場合の単位は有効です。
- 8 旧課程科目については廃止され、今後履修不可となる場合があります。[補足 7] 記載のとおり、過年度に単位修得済みであれば有効です。
- 9 「教育福祉論」「環境教育論」は 2020 年度以降の修得単位から有効です。2019 年度以前に修得した単位は必要単位に含めることができません。

I

免許状とは

II

取得要件

III

履修方法
科目一覧・

IV

科目登録
成績

V

介護等体験

VI

教育実習

VII

免許状申請

VIII

教員就職

IX

その他

■ 「社会教育主事の養成に係る社会教育に関する科目」開講科目および履修方法（新課程）

(3) 2020 年度以降入学者 教育学部以外の学生用 ※ } はセット履修

法令上の科目		早稲田大学における開講科目					
科目名	必要単位数	科目名	単位数	配当年次	科目設置箇所	科目登録方法*1	
I. 生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	1～	教育	②	
		生涯学習概論Ⅱ					
		生涯学習概論1	2	1～	文	①	
		生涯学習概論2	2	1～	文	①	
II. 生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	2	1～	教育	②	
		生涯学習支援論Ⅱ					
		生涯学習支援論1	2	1～	文	①	
		生涯学習支援論2	2	1～	文	①	
III. 社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	1～	教育	②	
		社会教育経営論Ⅱ	2	1～	教育	②	
IV. 社会教育特講	8	学校開放論	2	1～	教育	②	
		多文化教育論	2	1～	教育	②	
		成人教育論	2	1～	教育	②	
		青少年教育論	2	1～	教育	③	
		教育福祉論	2	1～	教育	③	
		環境教育論	2	1～	教育	③	
		家庭教育論	2	1～	教育	②	
		女性教育論	2	1～	教育	③	
		生涯スポーツ・レクリエーション論	2	1～	教育	②	
		図書館概論	2	1～	教育	③	
		図書館サービス概論	2	1～	教育	③	
		博物館概論	2	1～	教育	③	
		博物館情報・メディア論	2	2～	教育	③	
		教育とジェンダー	2	2～	文	③	
		社会調査法1	2	2～	文	①	
		社会調査法2					
		社会統計学1	2	2～	文	①	
社会統計学2							
コミュニケーション論	2	1～	文構	①			
教育社会学1	2	2～	文	①			

科目名	必要単位数	科目名	単位数	配当年次	科目設置箇所	科目登録方法 ^{*1}
IV. 社会教育特講	8	教育社会学2	2	2～	文	①
		教育学概論1	2	2～	文	①
		教育制度論	2	2～	文	①
		教育福祉論	2	2～	文	①
		比較・国際教育学(教育改革の視点とその方策)	2	2～	文	③
		障害学	2	1～	文構	③
		セクシュアリティの社会学	2	1～	文構	③
		クエア・スタディーズ入門	2	1～	文構	③
		日常生活の社会学	2	1～	文構	①
V. 社会教育実習	1	社会教育施設実習	1	3～	教育	②
		社会教育実習	1	2～	文	①
VI. 社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	3	社会教育課題研究 I-1	2	1～	教育	②
		社会教育課題研究 I-2	2	1～	教育	②
		社会教育課題研究 II-1	2	1～	教育	②
		社会教育課題研究 II-2	2	1～	教育	②
		社会教育実習	1	2～	文	①
		社会教育・成人教育学Ⅰ—社会教育課題研究	2	2～	文	①

- 1 科目履修のルールは、所属学部の「科目登録の手引き」に記載されている内容が適用されます。
- 2 上記の表を参照しながら、法令上の科目Ⅰ～Ⅵの領域で定められている必修単位数を満たすように計画的に履修してください。
- 3 科目の内容や時間割、担当教員は WEB シラバスで確認してください。開講年度により異なります。
- 4 「図書館概論 A」「図書館概論 B」のように、同一科目で複数クラス設置されている科目があります。履修クラスによって資格に使用できなくなることはありません。
- 5 「社会教育施設実習」「社会教育実習」は学外施設で行う実習です。早稲田大学で実施する事前指導、事後指導にも必ず出席してください。

I
免許状とはII
取得要件III
履修方法
科目一覧・IV
科目登録
成績V
介護等体験VI
教育実習VII
免許状申請VIII
教員就職IX
その他

■ 「社会教育主事の養成に係る社会教育に関する科目」開講科目および履修方法（旧課程）

(4) 2019 年度以前入学の在学学生 教育学部以外の学生用

2019 年度以前入学者で、現在まで在学し続けている者は旧課程の適用となります。新課程科目の単位を修得した者は、以下表のとおりに読み替えます。

なお、卒業または退学し、2020 年度以降に再度本学に入学した場合は新課程の適用となり、旧課程で修得した単位は新課程の科目に読み替えます。

<新課程と旧課程の読み替え表>

新課程科目【単位数】		旧課程科目【単位数】
生涯学習概論【4 単位】	⇒	生涯学習概論【4 単位】
社会教育経営論【4 単位】	⇒	社会教育計画【4 単位】
生涯学習支援論【4 単位】	⇒	社会教育特講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ【12 単位】
社会教育特講【8 単位】		
社会教育実習【1 単位】	⇒	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究【4 単位】
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究【3 単位】		

旧課程科目【単位数】		新課程科目【単位数】
生涯学習概論【4 単位】	⇒	生涯学習概論【4 単位】
社会教育特講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ【8 単位】	⇒	社会教育特講【8 単位】
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究【3 単位】	⇒	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究【3 単位】

※ } はセット履修

法令上の科目		早稲田大学における開講科目				
科目名	必要単位数	科目名	単位数	配当年次	科目設置箇所	科目登録方法 ^{*1}
Ⅰ. 生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	1～	教育	②
		生涯学習概論Ⅱ				
		生涯学習概論1	2	1～	文	①
		生涯学習概論2				
Ⅱ. 社会教育計画	4	社会教育経営論Ⅰ	2	1～	教育	②
		社会教育経営論Ⅱ				
		社会教育方法論 (旧課程科目)	2	3～	教育	②
		社会教育行財政Ⅰ (旧課程科目)	2	1～	教育	②
		社会教育行財政Ⅱ (旧課程科目)				
		社会教育方法論1 (旧課程科目)	2		文	—
		社会教育方法論2 (旧課程科目)				

科目名	必要単位数	科目名	単位数	配当年次	科目設置箇所	科目登録方法*1
III. 社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	4	社会教育施設実習	1	3	教育	②
		社会教育課題研究 I-1	2	1～	教育	②
		社会教育課題研究 I-2	2	1～	教育	②
		社会教育課題研究 II-1	2	1～	教育	②
		社会教育課題研究 II-2	2	1～	教育	②
		社会教育実習	2	2～	文	①
		社会教育・成人教育学—社会教育課題研究	2	2～	文	①
IV. 社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	4	家庭教育論	2	1～	教育	②
		女性教育論	2	1～	教育	③
		成人教育論	2	1～	教育	②
		青少年教育論	2	1～	教育	③
		多文化教育論	2	1～	教育	②
		女性史 (旧課程科目)	2	1～	教育	③
		高齢者教育論 (旧課程科目)	2	1～	教育	②
		教育とジェンダー	2	2～	文	③
		社会教育学 (旧課程科目)	2		文	—
		セクシュアリティの社会学	2	1～	文構	③
		クエア・スタディーズ入門	2	1～	文構	③
		日常生活の社会学	2	1～	文構	①
IV. 社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	4	博物館情報・メディア論	2	2～	教育	③
		博物館概論	2	1～	教育	③
		博物館経営論 (旧課程科目)	2	1～	教育	①
		博物館資料論 (旧課程科目)	2	1～	教育	①
		図書館概論	2	1～	教育	③
		図書館サービス概論	2	1～	教育	③
		学校開放論	2	1～	教育	②
		社会教育施設・職員論 (旧課程科目)	2	1～	教育	③
		生涯学習支援論Ⅰ	2	1～	教育	②
生涯学習支援論Ⅱ	2	1～	教育	②		
IV. 社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	4	教育福祉論	2	1～	教育	③
		環境教育論	2	1～	教育	③
		生涯スポーツ・レクリエーション論	2	1～	教育	②
		教育学概論Ⅰ (旧課程科目)	2	1～	教育	
		教育制度概論 (旧課程科目)	2	1～	教育	
		教育の制度と経営 (旧課程科目)	2	1～	教育	

- I 免許状とは
- II 取得要件
- III 履修方法
科目一覽・方法
- IV 科目登録
成績
- V 介護等体験
- VI 教育実習
- VII 免許状申請
- VIII 教員就職
- IX その他

科目名	必要単位数	科目名	単位数	配当年次	科目設置箇所	科目登録方法 ^{*1}	
IV. 社会教育特講 III (その他必要な科目)	4	初等教育学概論 I (旧課程科目)	2	1～	教育		
		教育の制度と経営 (小) (旧課程科目)	2	1～	教育		
		【3科目セット履修】 (1) 教育課程編成論 (中・高) (2) 教育基礎総論 1 (中・高) (3) 教育制度総論 (中・高) (※または旧科目「教育基礎総論 2 (中・高)」でもよい) (旧課程科目)	1 2 2	2～ 1～ 1～	教育		
		【3科目セット履修】 (1) 教育課程編成論 (中・高) (2) 教育学概論 1 (3) 教育学概論 2 または 教育制度論 (旧課程科目)	1 2 2	2～ 2～ 2～	教育 文 文		
		生涯学習支援論 1	2	1～	文	①	
		生涯学習支援論 2	2	1～	文	①	
		社会調査法 1	セット履修	2	2～	文	①
		社会調査法 2		2	2～	文	①
		社会統計学 1	セット履修	2	2～	文	①
		社会統計学 2		2	2～	文	①
		コミュニケーション論	2	1～	文構	①	
		教育社会学 1	2	2～	文	①	
		教育社会学 2	2	2～	文	①	
		教育福祉論	2	2～	文	①	
		比較・国際教育学 (教育改革の視点とその方策)	2	2～	文	③	
		障害学	2	1～	文構	③	
		教育社会学 (旧課程科目)	2		文		
		地域福祉論 1 (旧課程科目)	2		文構		
		地域福祉論 2 (旧課程科目)	2		文構		
		これからの地域・まちづくりと支援論 (旧課程科目)	2		文		

- 1 科目履修のルールは、所属学部の「科目登録の手引き」に記載されている内容が適用されます。
- 2 上記の表を参照しながら、法令上の科目 I～IV の領域で定められている必修単位数を満たすように計画的に履修してください。
- 3 科目の内容や時間割、担当教員は WEB シラバスで確認してください。開講年度により異なります。
- 4 「図書館概論 A」「図書館概論 B」のように、同一科目で複数クラス設置されている科目があります。履修クラスによって資格に使用できなくなることはありません。

- 5 旧課程の認定科目を2019年度以前に修得した場合の単位は有効です。
- 6 旧課程科目については廃止され、今後履修不可となる場合があります。[補足5]記載のとおり、2019年度までに単位修得済みであれば有効です。
- 7 「社会教育施設実習」「社会教育実習」は学外施設で行う実習です。早稲田大学で実施する事前指導、事後指導にも必ず出席してください。
- 8 以下の科目は2020年度以降の修得単位から有効です。2019年度以前に修得した単位は必要単位に含めることができません。
「セクシュアリティの社会学」(文構)、「クィア・スタディーズ入門」(文構)、「日常生活の社会学」(文構)、「教育福祉論」(教育)、「環境教育論」(教育)
「教育福祉論」(文)、「比較・国際教育学(教育改革の視点とその方策)」(文)、「障害学」(文構)

2 早稲田大学で社会教育主事資格に必要な単位を修得する方法

本学社会教育主事の資格取得要件のうち、「三 大学に2年以上～社会教育に関する科目の単位を修得」の要件を満たすことができます。修得すべき科目・履修申請上の注意事項等は教職支援センター web ページ (<https://www.waseda.jp/fedu/tec/>) で確認してください。入学年度によって適用される課程が異なりますので注意してください。

3 その他資格の科目登録方法

- 資格取得に必要な科目を確認し、要件を満たすように漏れなく登録してください。所属学部で定める登録方法・日程に従って履修申請してください。
- 科目のラインナップは教職支援センター web ページで最新版が確認できます。
- 配当年次以上の科目を登録できます。
- 授業は原則、早稲田キャンパスと戸山キャンパスで行います。
- 履修科目の単位の取り扱いは、所属学部の「学部要項」、「講義要項」(教育学部生は「授業ガイド」)、「科目登録の手引き」等を参照してください。

! 上記取得要件のとおり、本学で必要科目単位の修得をしただけでは、社会教育主事の取得要件をすべて満たしたことはありませんので、注意してください。

4 授業・休講・補講・レポート・成績

授業・休講・補講・レポート・成績については、教員免許状取得の場合と同じ要領になります。(☞ P.38～42)

I	免許状とは
II	取得要件
III	科目一覧・履修方法
IV	科目登録
V	成績
VI	介護等体験
VII	教育実習
VIII	免許状申請
IX	教員就職
X	その他

5 申請できる証明書

証明書の種類	内 容
社会教育主事単位修得証明書	社会教育法に基づき修得した機関・単位を証明するものです。卒業日以降発行します。

■ 請求方法

証明書は所属学部事務所にて発行します。請求方法の詳細は所属学部の web ページを参照してください。

6 卒業後に社会教育主事を目指す方法


(1) 文部科学大臣から委嘱を受けた大学等で社会教育主事の講習を修了すること。

- 講習実施機関は文部科学省 web ページを参照してください。
[http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/syujji/1279836.htm]
- 大学にて「社会教育主事関連科目」の単位を修得した場合、講習科目の一部が免除されることがあります。卒業した学部の事務所にて「社会教育主事単位修得証明書」を発行後、講習を実施する大学へ持参し相談してください。

(2) 大学 (短大を含む) で「文部科学省令で定める社会教育に関する科目」を履修する。

履修できる大学は文部科学省 web ページを参照してください。

[http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/syujji/1284692.htm]

 本学では上記 (1) (2) ともに実施していません。

1 早稲田大学で社会福祉主事資格を取得するには

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格（任用資格）です。在学中に、社会福祉主事の任用資格を得るためには、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を、3科目以上修めて卒業しなければなりません。（社会福祉法第19条第1項第1号）

社会福祉概論	社会保障論	社会福祉行政論	公的扶助論
身体障害者福祉論	老人福祉論	児童福祉論	家庭福祉論
知的障害者福祉論	精神障害者保健福祉論	社会学	心理学
社会福祉施設経営論	社会福祉援助技術論	社会福祉事業史	地域福祉論
保育理論	社会福祉調査論	医学一般	看護学
公衆衛生学	栄養学	家政学	倫理学
教育学	経済学	経済政策	社会政策
法学	民法	行政法	介護概論
医療社会事業論	リハビリテーション論		

（厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目より）

詳細は、以下の厚生労働省のwebページで確認することができます。

福祉・介護

生活保護・福祉一般

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/index.html

施策情報

社会福祉士・介護福祉士等

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/shakai-kaigo-fukushi1/index.html

『ページ8』：社会福祉主事について

『ページ9』：社会福祉主事任用資格の取得方法

なお、『ページ9』の「2- (2) 指定科目の変遷」にある指定科目名と、在学中に履修する授業科目名が原則一言一句同じでなければ指定科目を履修したものと認められないので注意してください。

ただし、『ページ9』の但し書き以降の条件にあう場合は、指定科目を履修したものと認められるので、各自で確認して履修計画をたててください。

2 科目登録方法

- 資格取得に必要な科目を確認し、要件を満たすように漏れなく登録してください。所属学部で定める登録方法・日程に従って履修申請してください。
- 配当年次以上の科目を登録できます。

- 授業は原則、早稲田キャンパスと戸山キャンパスで行います。
- 履修科目の単位の取り扱い、所属学部の「学部要項」、「講義要項」（教育学部生は「授業ガイド」）、「科目登録の手引き」等を参照してください。

3 授業・休講・補講・レポート・成績

授業・休講・補講・レポート・成績については、教員免許状取得の場合と同じ要領になります。（☞ P.40～42）

4 その他

社会福祉主事の単位修得証明書はありません。
確認を求められた場合、「成績・卒業証明書」を提出してください。